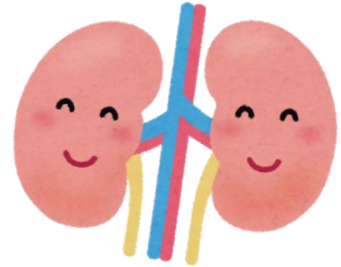


透析療法ってなあに？

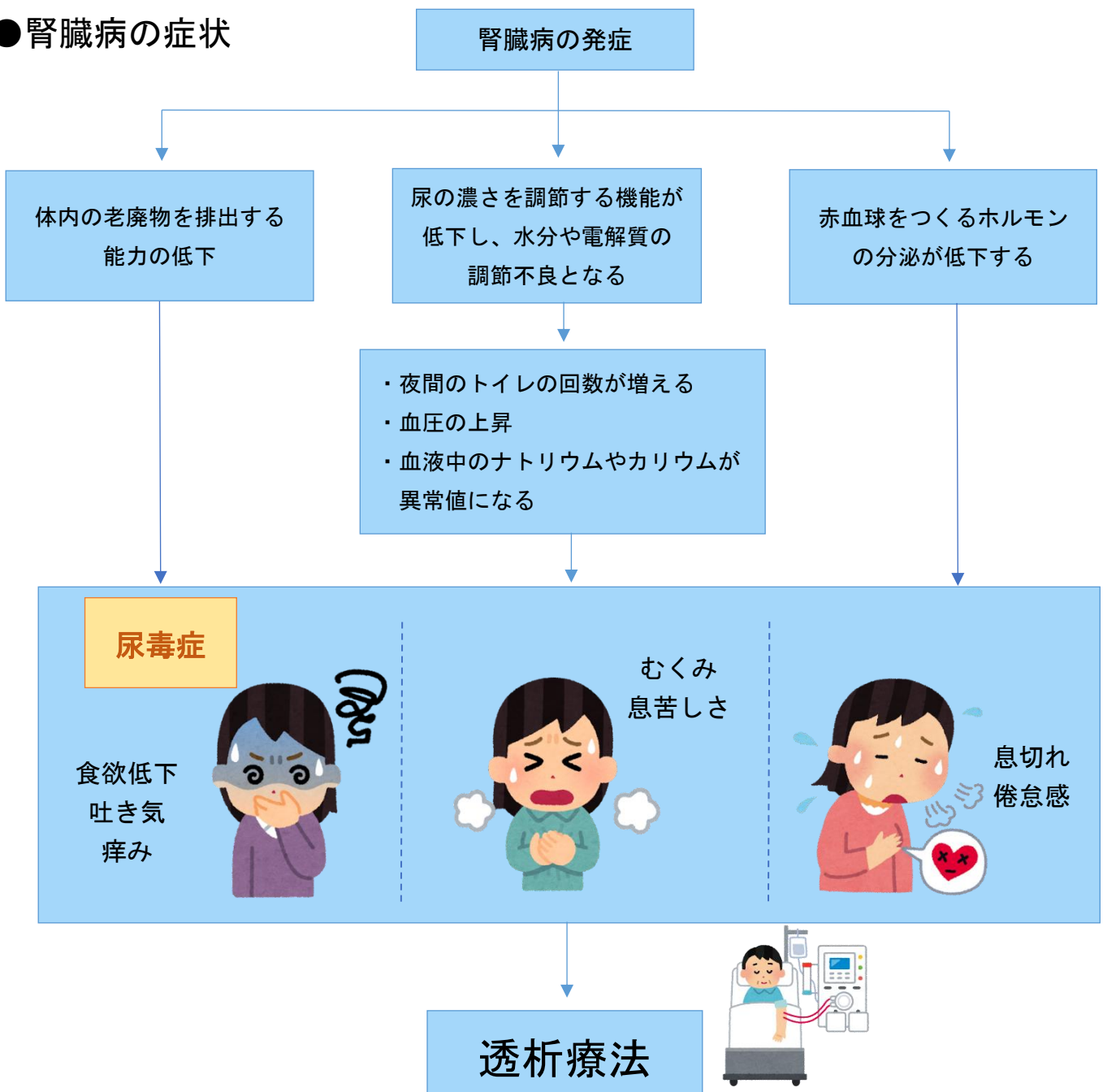
●腎臓の働きについて・・・

腎臓はそら豆の形をした150gほどの小さな臓器です。
主な役割は・・・

- ① 体内の老廃物の排出
- ② 体内の水分と電解質の調節
- ③ 赤血球をつくるホルモンの分泌
- ④ カルシウム・リンの調節をするホルモンの分泌
- ⑤ 血圧の調節



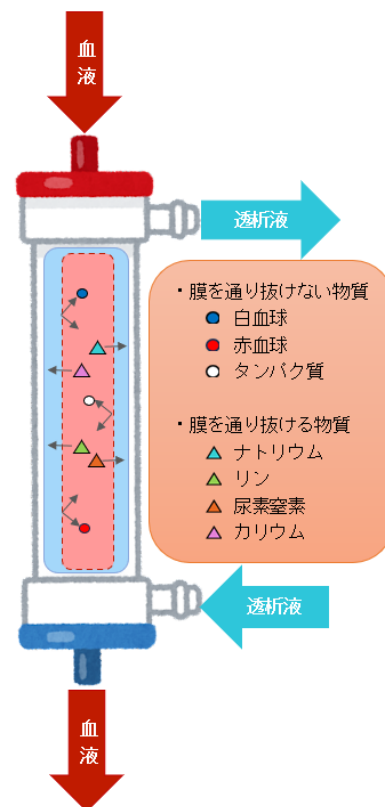
●腎臓病の症状



●血液透析療法とは

血液透析療法とは、1分間に200mL程度の血液を体の外へ出し、ダイアライザーを介して体の中に溜まった老廃物や過剰な電解質・水分を除去し、浄化された血液を体内へ戻す治療のことです。

ダイアライザーとは腎臓の中の糸球体といわれる部分の代わりの機能を担っており、中を流れている透析液へ老廃物・過剰な電解質や水分を濾過する働きをもっています。血液透析療法には主に「HD（血液透析）モード」・「HDF（血液濾過透析）モード」の2種類があります。



「HD（血液透析）モード」

「HDモード」とは、拡散と限外濾過といわれる仕組みにより老廃物・過剰な電解質や水分を除去するモードのことです。

小分子量物質（尿素をはじめとする小さい分子量の老廃物）を除去するのに優れています。

「HDF（血液濾過透析）モード」

「HDFモード」とは、「HDモード+補液」を行うことで「HDモード」が不得意としている大分子量物質（ $\beta 2$ -ミクログロブリンなどの大きな分子量の老廃物）を除去するのに優れており、 $\beta 2$ -ミクログロブリンによるアミロイドーシスといわれる合併症の予防につながります。

HDFモードには「オフラインHDFモード」と「オンラインHDFモード」があり、「オフラインHDFモード」では、補液バックに入った補充液を使用するため濾過するための補液量が少なく、濾過量がそれに伴い減少します。一方、「オンラインHDFモード」は補充液に透析液を使用するため、補液量を多くすることができ、補液量の増加に伴い濾過量が増加します。つまり、「オンラインHDFモード」の方が老廃物などの不要物質をより多く取り除くことができるのです。



当院でのHDFモードは「オンラインHDFモード」を採用しており
全25床でこのモードでの治療を選ぶことができますよ！

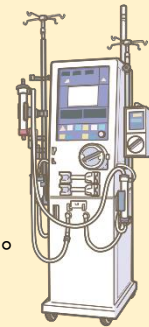
※患者さんの病状により適応が異なります。ご不明な点は医師にご相談ください。

●安心安全な透析治療のために・・・

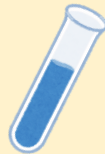
私たち臨床工学技士は、安心安全な透析治療を受けていただくために、このような業務を行っています！

・ 毎日の透析装置の点検・メンテナンス

毎日、機器の使用前・使用中・使用後のチェックを実施。
また、定期的な部品交換や詳細点検、メンテナンスを実施しています。



・ 透析液の水質チェック



毎朝治療前に、作成された透析液の水質チェックを実施。
また、「オンラインHDFモード」の治療には、定められた水質基準を満たした透析液の作成が必要になる為、定期的な生菌検査を実施しています。

・ エコー（超音波画像診断装置）を使用した穿刺

専門的機器の知識を深め、エコーを利用した穿刺を実施することで、
患者さんへの穿刺の負担軽減に努めています。



医療機器の専門家である臨床工学技士は

患者さん一人一人に合わせた、

安心安全な治療を提供できるよう

日々の業務に励んでいます！

